

ありがとう便り

有限会社 サンユー農産

公式ホームページ <https://korop-siso.com>

健康村コロポックルの里
(札幌事務所) 札幌市西区発寒4条4丁目9-24

TEL 0120-560-963 FAX 011-668-1187

札幌市西区発寒4条4丁目9-24 ・ コロポックルの里農園 北海道余市郡仁木町東町8丁目60

ありがとうございます、農園の作業風景や農作物の話、北海道仁木町の四季折々の景色や出来事などを、思いつくままに綴るニュースターです。



夜遊び猫②

ある日の夜、向ふに行っても全然帰って来なかった。たまこは、帰らなかった。以前おいて帰って警察沙汰になったので、しかも、会社に泊まることになった。しかし、朝になっても、たまこは帰ってこない。外が明るくなったので、さかいらいに行くと... 裏の駐車場の車の下にいた!!

何故か、一晩で野性味が増している!

「いや、フーじゃねーわ!!」

夜あそびした朝のたまこは、とてもワイルドだった!!



今回もサンユー農産のアイドル猫たまちゃんの話 ③ 夜遊び猫

たまちゃんは会社の猫なので、夜は1人で留守番である。

社長室か、暖房完備、たまこのお部屋

ある日、たまこは、ちよつと目をなしたすきに夜に外に出て、終電まで帰らなかった。

「うー どうしよう... 終電がなくなる...」

その日の夜は、あつもなく寒くもなく、ちよつと良い気温で... たまちゃんは117も自由に歩いてるので、家に帰れないこともあるまい... と、玄関フードに、お水とおはんじ、たまちゃんの猫ハウスを設置して帰った。

2023年上半期における北海道の大きな話題の一つと言えば、エスコンフィールド北海道の開業ではないでしょうか。エスコンフィールド北海道は、北海道日本ハムファイターズの本拠地として、球場のみならず飲食店、マンション、保育園、高齢者福祉施設、病院、キャンプ場、レクリエーション場等、ここに来ればなんでもできる、をコンセプトにした一体型の「村」をコンセプトにしています。

私は開幕戦に行っていました。場所が北広島市なので遠いかなと思いましたが、札幌駅から北広島駅までJRで17分、その後、駅前からバスで5分と、30分もあればたどり着けました。札幌ドーム時代も札幌駅から球場まで30分くらいでしたので、大した変わらないかなあという印象です。

入場ゲートをくぐると、目の前には天然芝の球場が広がっています。初めてその景色を見たとき、とても感動しました。フィールドと観客席との距離が狭いので、選手の声も普通に聞こえてくるのです。音響や照明など、全てを計算しつくして作ったそう、他の球場と比較しても、見やすさは段違いです。

さらに、座席が素晴らしく、長時間座っても全く疲れない造りになっています。そして数多くの飲食店やきれいなトイレ、エスカレーター、の完備など、全く今までの札幌ドームは何だったんだ、というくらい快適です。外野席にはサウナや温泉もあり、そこから野球を見ることもできます。建設に600億円かかっただけで、そこから野球を見るかかると、と納得してしまうくらいです。この球場に仕上がっています。

5月8日より新型コロナウイルスによる制限がほぼ解除されました。マスクなしによる声出し応援ができるようになり、1試合当たりの平均来場者数は2万4千人(座席数2万9千席)と、82%の来場割合になっています。これは、当初目標としていた数値よりも大幅に高いようです。この球場の完成による経済効果は、年間1,600億円という数字を見ても、いかに北海道民がこの球場に期待を寄せているのかが分かります。

さて、開幕戦にいった私は、球場の設備、食事などに大満足でしたが、試合は残念ながら負けました。帰宅するとき、駅までのバスはものすごく混雑をしていたので、北広島駅まで徒歩で帰りましたが、徒歩だと20分程かかる距離です。勝った時には気にならない20分も、負けたときは長いこと長いこと(笑)。結局、行きは30分でしたが帰りは1時間20分かかってしまいました。初日でするので、運用品もスムーズでなかったことが要因のようです。

一部ネットでは、バスやJRの混雑や待ち時間が長い、札幌から遠い、等を批判する記事が多く見受けられましたが、2か月経ち、少しずつ運用を改善することにより、それほどストレスなくバスやJRに乗れるようになりました。観客動員数が減らないのも、球団の努力が実を結んでいるのではないかと思います。そういえば、北広島駅までのバス乗り場で待ってはいないかと思えます。そういえば、北広島駅までは、球団社長の小林勝さんでした。そのほかに、取締役を含め球団上層部は、毎試合、エスコンフィールドを巡回し、生の声を聴いて、改善につなげているとの記事がありました。常に顧客のニーズを現場でキャッチする姿勢、私も見習わなければならぬと思います。

農園だより
エスコンフィールドのお話し

新しい農地を圃場にしよう！ <第三弾>



前回までのあらすじ：今まで使っていた圃場の一部が高速道路の用地に該当し、買収されてしまいました。そのため、私たちは新しい農地を購入しました！ですがこの農地、あまりにも草木が凄すぎて、すぐには使用できません。まずは整地を行い、井戸を掘って植えれる状態まで整えました。そして・・・。

今回は、新しい農地を圃場にするまでの奮闘記（第三弾）のお話です。



前回の奮闘の様子

・今年4月ごろ

長い冬が終わり、いよいよここにシソを植える準備をすることになりました。

今回は、新しく購入したメインの圃場にシソを、別の新しい圃場にブルーネを植えます。

まずは、シソの圃場から耕します。圃場がなぜか凸凹になっているので、トラクターで平らにしなければいけません。そのため、縦1回、横1回、もう一度縦1回の3回おこします。

1回・・・



2回、3回。



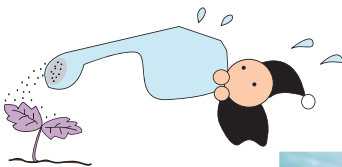
それではマルチを引きます。

1本あたり15分くらいでしょうか。



5万本植えるので、マルチの量もすごいです。この圃場だけで30本引きます。マルチ1本あたり1,000本植えることができます。

苗です。
1セルトレイに
200苗入っています。



それでは植えます！

この写真は、植えて1週間たった状態です。もう雑草が出てきている・・・。シソはしっかりと育っています。



次にブルーネの圃場です。

こちらは1列あたり7本×7列で49本植えます。

わかりづらいですが、支柱と一緒に6メートル間隔で植えています。



植え方ですが、穴を掘って、そこにバケツ一杯分の水を入れます。土と水を混ぜたところに埋めて、土をかけて最後は足で踏んで固めます。これでオッケー！

肥料はやってはいけません。根が焼けてしまいます。

苗木と言っても、ブルーネの枝から根を出したものです。

すでに葉っぱが出てきています。

3年もすると、収穫できるようになるのです。

楽しみです！



さあこれで、一通り圃場に植えました。

ちゃんと作物が育つといいなあと思いつつながらこれから管理を行うことになります。

今回は最終回。

管理から収穫までをお伝えします！

今年の夏も厚くなりそうですね。

体調にはお気をつけて、元気に乗り切りましょう！